

ご存知ですか? PRP療法

変形性関節症、半月板損傷、
スポーツ外傷(腱炎、靭帯損傷、肉離れなど)
でお悩みの方に

テレビのニュースで聞いたり、新聞で見たことがある方もいらっしゃるかもしれませんね。スポーツ関連、特にメジャーリーグやプロ野球の投手やプロサッカー選手などで。

PRP療法とは何でしょう?

これはPlatelet Rich Plasma療法の略で、日本語に直すと多血小板血漿のことです。これでもなんだかよく分かりませんね。分けて考えてみますと、血小板が多く含まれた血液の成分ということになります。

そもそも血小板は血管が損傷した際に固まって出血を止める働きや成長因子を放出する役目があります。

この“自分で自分を治す力(自己治癒力)”をサポートし、
痛んだ組織を修復する治療ということになります。

アメリカやヨーロッパでは頻繁に使われていて、日本でも数年前から広がってきています。

以前はスポーツ選手が中心でしたが、現在では一般の方に対しても慢性化してしまった症状の治療にも使われています。

方法

- ① 自分の血液を10-20cc採取(通常の採血と同じ)
- ② 遠心分離して、血小板が多く含まれる成分だけを抽出
- ③ 患部に注入(注射)
- ④ おしまい



整形外科 諏訪 通久 医師



常勤医師 諏訪 通久(すわ・みちひさ)

【所属】日本整形外科学会認定専門医/日本整形外科学会認定運動器リハビリテーション医/日本スポーツ協会公認スポーツドクター /日本障がい者スポーツ協会公認障がい者スポーツ医/日本医師会認定健康スポーツ医/日本陸上競技協会公認コーチ

【専門】整形外科一般/外傷/スポーツ障害/膝

【著書】マラソン自己ベスト達成メソッド」大和書房(2019年12月)

【取材】TBS(Nスタ)、月刊ランナーズほか多数

外来診療

毎週火曜日午前、木曜日午前

受付時間 8:00~12:00

診療時間 9:00~13:00

PRP療法の流れ

長所

- 自分の血液を使用するので、感染症やアレルギー反応が起こりにくい
- 手術と比べても身体への負担が少なく、傷も残らない(普通の注射と同じ)
- 日帰り治療が可能(入院不要)で、生活の制限が少ない

短所

- 実施後の数日間、痛みや腫れ・熱感を伴うことがある
→患部の冷却で改善します
- 効果が出るまでの期間に個人差がある
→患者様ごとに患部の状態や治療への感受性が異なります
- 身体の状態により実施できないことがある
→問診や検査にて評価します

特に以下の方々におすすめします

- たくさんの保存療法のうちの1つの選択肢として、特に既存の治療での効果が乏しかった方
- 可能であれば手術を回避したい方
- 仕事を休んだり、日常生活の制限を最小限にしたい方

最後に

PRP療法は身体への影響が少ない治療法です。

もちろん患者様ごとに効果は異なりますが、副作用の非常に少ない治療法であり、治療の選択肢の1つになります。

当院でもまもなくの導入を予定しています。

MRIやエコーで患部の評価を行い、必要とされる患者様に安全に使用していきます。

まずはお気軽にご相談ください!



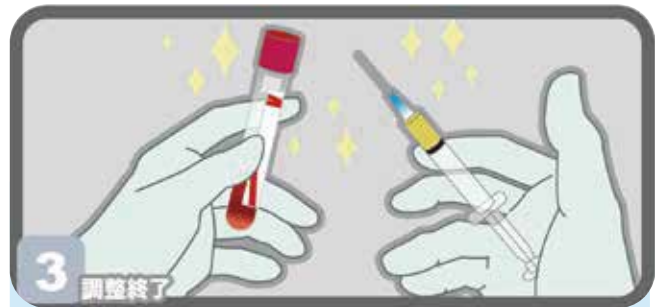
1 20 ccの血液を採取する

自分の血液を10-20cc採取(通常の採血と同じ)



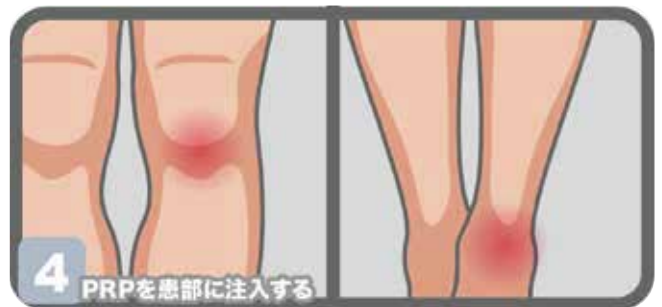
2 採取した血液を遠心分離機にかける

遠心分離して、血小板が多く含まれる成分だけを抽出



3 調整終了

調整終了



4 PRPを患部に注入する

患部に注入(注射)

「最短復帰と再発予防、そして更なるパフォーマンスアップへ」



日本陸上連盟公認コーチ×日本最速のランニングドクターとして初心者ランナーから日本のトップ選手まで多数の選手をサポートしてきた経験を生かして、国内では希少価値の高い専門的な治療をさせていただきます。

これからランニングを始めようとしている。

どんな練習をしたら良いか分からない。

どんなシューズを選ばいいのか分からない。

記録に伸び悩んでいる、故障を繰り返している。

他病院で”走らないで安静にしてください”や”もう治りません”と言われた…

スポーツに関わるすべての人を歓迎し、一人一人の目的・目標に沿って的確なアドバイスを致します。